

第2回高齢者福祉専門分科会 議事録

- ・日 時：令和7年7月28日（金）
- ・場 所：佐世保市中央保健福祉センター3階 デイケア室
- ・出席委員：12名（全員出席）
＜分科会委員＞ 池永英恒委員（会長）、鷲田由香里委員、吉田勝彦委員、森田学委員、井福直美委員、松尾幸弘委員、岩崎善光委員、天羽隆之委員、竹内久美子委員、芥川卓也委員、井手佳位輔委員、久田貴幸委員

1. 議題

- 議題1 概要の説明
- 議題2 前回ご質問いただいた内容への回答
- 議題3 施策の方向性
- 議題4 次回協議日程 ※議事録割愛

2. 主な意見

議題1 概要の説明

- A委員：税の使い道、現行制度への不公平感などを考えると、見直しの必要性がある。
- B委員：他の自治体では有料のところが多いが、有料化でのデメリットが怖い。
- C委員：交付率が半分と聞くと、税の使い道として考えないといけない。
現制度は、現状の減便の中では利用価値がない感覚がある。
- D委員：一定の負担をいただいても、持続可能となるよう考えてほしい。

議題2 前回ご質問いただいた内容への回答

特に意見なし

議題3 施策の方向性

事務局から：資料のとおり4案の方向性を提示

- E委員：高齢者の方には、健康増進施策という意識はないと思う。
不公平感には、体が不自由でバスは使えない等の問題もあるため、交通手段がない人への施策としてのフォローもあるとよい。
- A委員：市民アンケートでは、健康増進手段として交通費助成が一番求められている。
市民の声を生かす点からも、A案の「外出支援」が最も優先度が高いと思う。
- F委員：4案ともよいと思う。A案の「外出支援」は縮小した上で残し、他の案と組み合わせるハイブリッドは考えられないか。
- B委員：A案だけだと今とあまり変わらない。他の案と組み合わせ、高齢者がもっと外に出ようとなってくれるとよい。

G委員：A案を無くすというのは抵抗感がある。現制度の不公平感やタクシー、松浦鉄道等の希望も耳にするので、選べるようになれば不公平感も減るのでは。A案を残しつつ、C案の運動支援をプラスするのがよいと思う。

H委員：敬老パス見直しとの報道を受け、高齢者も心配している。

現状では無料のままは難しいと思うが、一部負担いただくことで財政も潤い、制度を続けることで高齢者に優しい佐世保市であってほしい。

I委員：個人的にはC案、運動支援がとても良いと思う。外出支援は残しつつ、貯めたポイントがバス代に使える等の複合的な考えもあってよい。

J委員：A案の外出支援は、柱として残さざるをえない。

C案は、運動できない人はポイントが取れず、公平性の点からは困るのでは。

D委員：A案で、二モカカードに定額を入れてお渡しするのであれば、外出支援に使ってもいろいろなものに使ってもよく、外出できない方の不公平感も減る。

A委員：いずれの案でも、予算の上限があることを決めておくべき。ハイブリッドの話もあるが、A案の中で、また複合的にするとしても、上限の中でどこまでできるか。

K委員：市民アンケートでは、1乗車あたり100円等の負担の話があった。

A案の中で、乗車毎の徴収等をすれば、予算の上限額も変わってくるのでは。

結

論：・方向性としてはA案・外出支援とする。

・次回までに、負担金徴収などA案の中でも複数の案を検討し提示すること。

・同案により、他の案に余剰金を用い実施できるかを検討する。